

# 学校だより

大田区立大森第八中学校

令和6年4月15日 第1号

「令和6年度は548名でスタートしました」

校長 保谷 満

1学年6学級、2学年4学級、3学年5学級、8組（特別支援学級）3学級、計18学級、全校生徒548名で令和6年度の大森第八中学校が始動しました。

4月8日の始業式では、新2、3年生が新編成に期待と不安を抱きながら登校し、体育館で着任式と始業式を行い、新しい学級担任・副担任の先生の発表に一喜一憂しました。

4月9日には入学式があり、184名の新入生が入学してきましたが、校長式辞の中では以下のようなことを話しました。

「アメリカの有名な実業家、ヘンリーフォードは「本当の失敗とは失敗から何も学ばないことである」、また「失敗したことの無い人間は挑戦したことの無い人間である」とも言っています。中学校に入ると学習する内容や定期テスト、部活動など小学校になかったものばかりで、皆さんにとってそれらはすべてチャレンジ（挑戦）です。

挑戦し失敗し、また挑戦する、この繰り返しがあがるからやがて成功に手に届きます。成功体験すると自信が生まれます。だから自分に自信を持てるようになるためには挑戦や失敗といった豊富な経験が大事です。（略）

皆さんが快く勇気をもって挑戦していくためには家庭や先生、友達など周囲の温かい応援が必要。失敗を冷かしたり、馬鹿にするのではなく、失敗を恐れずに挑戦している人にエールを送ってあげましょう。（略）

多くの生徒が集まる本校で、みんなが居心地の良い学校にするためには、一人一人の存在を認める、居場所を奪わないということ。人の意見を聞き入れる、人の喜びや苦しみを理解する、社会はみんながいて成り立っているという認識を持つことです。（略）

生活に張り合いを持たせるための極意として、何か目標となる人、尊敬する人を見つけること。すでに様々な経験を積んだ先輩方は皆さんにとって手本となる人がたくさんいるので、何か迷ったり、困ったことがあったら遠慮なく先輩そして先生方に相談して下さい」 —以上一部抜粋—

自我に目覚め、自分の意志を持ち始める思春期。大人や友達とも意見や考え方でぶつかることも多くなりますが、近年をみると1年次の人間関係トラブルが圧倒的に多く見られます。

人と人の適切な距離感はその人とその人によって千差万別ですから、1つのパターンを身につければ大丈夫ということはありません。せっかくこんなにも多くの人がいる学校に通っているのですから、人の良いところを見て学び、みんなが高め合っている仲間づくりをしていって欲しいと思っています。トラブルからは事の善悪、責任感、協調性など多くのことが学べる機会なのです。

中学生になったら自分の行動には自覚と責任を持つこと。失敗を恐れず、されど自分の言ったこと、失敗してしまったことについて責任感を持てる生徒に育てて欲しいと思っています。

保護者、地域の皆様方におかれましては、こどもたち548名全員を多くの目で温かく、時に厳しく見守っていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

<令和6年度本校の人事異動等紹介>

ホームページへの掲載は差し控えます

4月の予定

4月 8日 (月) 始業式	4月 19日 (金) 離任式
4月 9日 (火) 入学式	4月 22日 (月) 生徒朝会 内科検診(1)
4月 11日 (木) 給食始 新入生歓迎会	4月 23日 (火) 職員会議・校内研修会
4月 12日 (金) 保護者会・修学旅行説明会	4月 24日 (水) 職員会議 検尿一次
4月 15日 (月) 避難訓練 専門委員会	4月 25日 (木) 耳鼻科検診 (1,8,3年一部)
4月 16日 (火) 眼科検診 (全)	4月 26日 (金) 大田区学習効果測定
4月 17日 (水) 職員会議 校内研修会	4月 28日 (日) ガーデンパーティ
4月 18日 (木) 全国学力学習調査 (3)	4月 30日 (火) 心臓検診 (1)

( ) 内は学年